

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

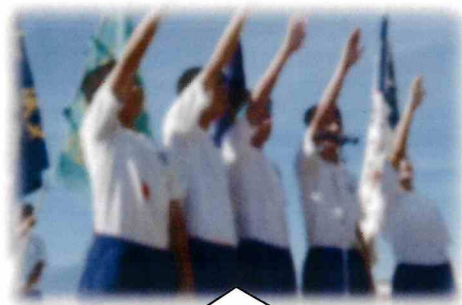
直東学園版

令和元年度 第5号
令和元年10月15日発行
〈発行・編集〉
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

直江津東中学校 体育祭

スローガン「**百花繚乱**～令和最初の体育祭 咲き誇れ五色の花～」

たいへんな猛暑の中、9月7日(土)に直江津東中学校の体育祭が行われました。夏休み中から3年生のリーダーを中心に準備を進めてきました。2学期に入り、雨が続きたり、気温が急に高くなったりし、思うように準備が進みませんでした。そんな不安を一掃したのは、応援や競技を楽しみながら取り組む、全校生徒の『笑顔』でした。学校行事を力一杯に楽しむ姿はとても中学生らしく、さわやかな一面です。この成果を日常生活につなげていきたいと思えます。たいへん暑い中、保護者や地域の方々からも応援をいただきました。本当にありがとうございました。



5軍の応援団長がしっかりとしたリーダーシップを発揮しました。体育祭後の振り返りの中には、3年生を中心としたリーダー達への感謝の気持ちを記入する1・2年生の生徒がたいへん多かったです。

1年生学年種目の様子です。1年生にとって初めての体育祭です。級長会を中心に、企画や運営の責任を果たしました。またひとまわり成長することができました。



下の写真は、応援部門優勝の紅軍の応援合戦の様子です。高温のため、音源が鳴らないハプニングがありましたが、見事に優勝することができました。また、右の写真は、応援部門第2位の緑軍の様子です。どの軍も趣向を凝らした応援合戦になりました。





直江津東中学校区 一斉あいさつ運動



今年度の直江津東中学校区の一斉あいさつ運動が行われました。中学生が各小学校へあいさつに出かけるとともに、町内会、防犯組合、交通安全協会、主任児童委員、民生委員・児童委員、PTAのみなさんからも、各街頭で子どもたちとすてきなあいさつを交わしていただきました。あたたかい気持ちがあふれるひとときになりました。ありがとうございました。

直江津東中学校の取組

もっと！もっと！広がれ“あいさつの輪”

「元気なあいさつが広がりました」

中学校の取組として、24日(火)の校区一斉あいさつ運動の日は、全校生徒からボランティアを募集し、出身小学校へ出向いてのあいさつ運動を行いました。4つの小学校あわせて80名を超えるボランティアの生徒が参加しました。



また、25日(水)～27日(金)の3日間は、部活動単位であいさつ運動を行いました。元気なあいさつだけでなく、笑顔でハイタッチをしている生徒もいました。毎朝の生徒玄関には活気があり、とても和やかな雰囲気になりました。あいさつ運動の期間だけでなく、日常生活に、あいさつの輪が、もっと！もっと！広がっていくことが今後の課題です。

北諏訪小学校の取組

きもちのよい あいさつをしよう

直江津東中学校区のあいさつ運動に合わせて、北諏訪小では9月の生活目標を「きもちのよいあいさつをしよう」



に決めました。新学期始めに、全校であいさつに関するソーシャルスキル教育を行いました。劇を見ながら、気持ちのよいあいさつについて全校で考えました。「相手に伝わる声で、伝わるようにあいさつをすることが大事だね。」子どもたちからはこんな声が聞こえてきました。9月のあいさつ運動がスタート。朝、登校してくると、玄関や教務室前で元気の良いさわやかなあいさつが交わされています。校内でのあいさつ運動に加え、家庭でも親子あいさつ運動にも取り組んでいます。家庭・学校・地域が一つになってこれからはあいさつ運動に取り組んでいきます。



も取り組んでいます。家庭・学校・地域が一つになってこれからはあいさつ運動に取り組んでいきます。

保倉小学校の取組

あいさつで 心をつなげよう

9月は、「あいさつで心をつなげよう いつでも どこでも だれとでも」を合言葉にあいさつ運動に取り組みました。

〈あいさつ強調月間のめあて〉

- 相手の名前を言ってから、あいさつしよう
- 目を見て明るい声で、笑顔であいさつしよう
- 友達、先生、地域の人にあいさつしよう

総務委員会の呼びかけで集まった「あいさつボランティア」と総務委員会児童が、毎朝、各教室をまわって「おはようございます」と元気なあいさつをしています。あいさつがよかったクラスは放送で発表します。

学校での素晴らしいあいさつを地域にも広げられるよう取り組んでいます。



有田小学校の取組

あいさつをする人 や場を意識して

有田小では、あいさつをする人や場を意識していくことが必要と考え、低学年は、「身近な人」、高学年に向かうにつれて「地域の人」「来校者」など、誰にでもあいさつができるようにと学年に応じためあてを設けて取り組んでいます。

運動期間中は、PTA 役員の皆様や生活委員会だけでなく、有田小のキャラクターも玄関付近に登場し、あいさつ運動を盛り上げました。

10 月からは、各学年があいさつのリーダーとなり、運動を進める予定になっています。



春日新田小学校の取組

子ども同士で 元気にあいさつ

「あいさつをされたらあいさつを返そう」「それができるようになったら、自分からあいさつをしよう」これが今年度の目標です。

今回のあいさつ運動では、生活委員会の児童も参加しました。「あいさつ日本一」のたすきをかけ、玄関前に立ち、直江津東中学校の生徒の皆さんと一緒に登校班を迎え、あいさつをしました。また、教室をまわってあいさつをしたりあいさつのよい人を昼の放送で紹介したりしました。子ども同士でも声をかけ合うことであいさつへの意識を高め、気持ちのよいあいさつができることを目指しています。



直江津東中学校体験入学

8月22日(木)に直江津東中学校区の小学校6年生が集まり、体験入学が行われました。前半は、生徒会総務による学校生活についての説明と各部部長による部活動の説明がありました。その後、小学校6年生の希望による各部の体験活動が行われました。当日は残念ながら雨が降り、外の部活動は室内でのトレーニングが中心でした。



右の写真は、情報科学部によるコンピュータの体験です。また、左の写真は、吹奏楽部による楽器体験の活動です。中学生が優しく小学生に声をかけ、教えることができました。



<拡大> 定例会議が開催されました

通常、事務局員だけで定例会議を行っていますが、今回8月7日(水)は、5校の教頭先生からも出席いただき、拡大定例会議を開催しました。

定例会議の内容に加えて、5校からの申請をもとにした地域活動支援事業の予算執行状況の確認を行いました。

また、今後の見通しやボランティア活動の意見交換も行いました。

互いに情報を共有することで、今後につながる有意義な会議となりました。



直東学園学校支援プロジェクトの紹介

2学期始めより、学校支援プロジェクトとして、上越教育大学の教職大学院生4名が直東学園事務局(直江津東中学校内)に実習に入らせていただいております。

県内でも先進的な取組をされている「直東学園運営協議会」「直江津東地域青少年育成会議」の運営について内側から観察及び事業支援をさせていただきながら、学園事務局と各小・中学校の教育連携の現状を把握し、よりよい運営の在り方について、そして、これからの時代に求められるコミュニティ・スクールの有り様を学んでいきたいと考えております。

また、合わせて、直東学園内の5小中学校にも実習に入らせていただいております。地域の皆様にも、たくさんお世話になることと思います。よろしくお願い致します。



【直東学園学校支援プロジェクトチームメンバーです】